

情報を先取り、タブーに挑戦

# 財界ナ・ほる

政治資金還流の疑惑も…

伊東良孝が事務所  
家賃代を妻・息子  
経営企業に支払い

2026年  
新年  
特大号

【特集】札幌市“異変、

影の市長、市議会のドンは窮地? 次期市長選、荒井優(立憲民主衆院議員)擁立への“蠢動、ほか

天敵同士の2人が… 鈴木宗男、長谷川岳が一献傾けた“東京・赤坂の夜、  
釧路メガソーラー対応を批判 反・鈴木直道で野口健知事選出馬の怪情報  
連載対談拡大版! レバンガ・富永啓生とコンサ・深井一希が登場  
SNS総フォロワー140万人 道産子アイドル・姫野ひなのインタビュー

新春特別企画  
全160ページ

未来への扉  
2026 Strategy

153の  
トップ・企業  
が登場



25年2月に完成した  
自社保有の新築賃貸マ  
ンション



菊地勝裕社長



「現在、単身者向けの定番の間取りは1LDKですが、あえて半数以上を1Kにしました。『コンパクトでも

扱う守備範囲の広さも伸長の要因だ。

ただ、建築費の高騰や金利の上昇など、不動産業界を取り巻

## 逆風化でも信念を貫く。 自社保有物件を増加させる

賃貸物件の管理を主業に、売買仲介や新築賃貸マンションの企画を手がける。25年は札幌市内で2棟の賃貸物件を取得し、自社の不動産保有数は24棟となつた。

「創業20年あと3年、30棟の保有を目指しています」と菊地勝裕社長。

25年2月に完成した自社企画、自社保有の賃貸マンションは、札幌市内における家賃相場の上昇を逆手にとり、早々に満室となつた。

「現在、単身者向けの定番の間取りは1LDKですが、あえて半数以上を1Kにしました。『コンパクトでも

売買仲介は好調を継続。25年は昨対比120%の伸びを見せた。収益不動産をはじめ、土地や住宅など一般ユーザーとの取り引きも増えている。大小さまざまな不動産を取り

手軽な家賃で新築に住みたい」というニーズに応えられた」と菊地社長。

一方、26年秋に完成予定の賃貸マンションは全戸1LDKでプランニングした。地域性や募集する入居者層をしっかりと加味し、一棟一棟最適なプランを導き出している。

「今後、長く会社を継続していくためには、お客様に真摯に対応することが重要です。いかなる時もブレずに、誠実に仕事をしていきたい」と菊地社長。

## マサル不動産

札幌市北区北34条西3丁目 マサルビル1階  
☎ 011・717・5550 <https://www.masaru34.com/>



明るい雰囲気の本社エントランス